

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

県立川崎図書館が KSPに移転開館しました

昭和33年から60年近く川崎区富士見に設置されていた県立川崎図書館は、ものづくり技術を支える機能に特化した「ものづくり情報ライブラリー」として、5月15日に川崎市高津区の「かながわサイエンスパーク（KSP）」に移転開館しました。

県立川崎図書館は、自然科学や産業技術の専門書、特許・規格情報等の提供のほか、公共図書館としては全国で初めて研究者や技術者に有用性の高い電子ジャーナルを導入しています。また全国屈指の19,000冊もの社史コレクションを擁するなど、「ものづくり情報ライブラリー」として特徴ある図書館です。

川崎市立図書館と同様に、新しくなった県立川崎図書館を是非ご活用ください。また、今後、市立図書館と県立図書館の間で連携事業の実施も予定しています。



館内の様子

県立川崎図書館のご案内

所在地・ 電話番号

川崎市高津区坂戸3-2-1 かながわサイエンスパーク（KSP）内 西棟2階
TEL 044-299-7825

開館日・ 利用時間

月～金曜日 午前9時30分 から 午後7時30分まで
土・祝休日 午前9時30分 から 午後5時30分まで

休館日

日曜日、毎月第2木曜日（館内整理日）、年末年始、資料総点検期間

アクセス

JR南武線 武蔵溝ノ口駅／東急田園都市線・大井町線 溝の口駅より

- 徒歩15分
- 溝の口駅北口バスターミナル9番乗り場からKSP行きシャトルバス約5分
（シャトルバスは平日午前10時から、土・祝休日は始発からご利用可能です。）
- 溝の口駅北口バスターミナル7番乗り場から市バス「高津中学校入口」下車徒歩1分

ご利用上の 注意

本の貸出をご希望の方は、県立川崎図書館において図書館カードをお申し込みいただく必要があります（川崎市立図書館の貸出カードはご利用いただけません）。

※詳細については、県立の図書館までお問い合わせください。

訃報

「だるまちゃん」シリーズや『からすのパンやさん』、また、多くの科学絵本で知られる絵本作家かこさとしさんが5月2日92歳で永眠されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

かこさんは、今年1月に「だるまちゃん」シリーズの新作、3月に自身の小学校卒業時の絵日記を再録した『過去六年間を顧みて』が刊行されるなど、生涯現役で創作活動を続けていらっしゃいました。また、平成27年2月には、川崎市立図書館が主催する読書普及講演会において、自身の創作活動などについてお話しいただきました。

川崎市立図書館では、かこさんの著作を多数所蔵しています。親子二代、三代と読み継がれる作品を、ぜひご覧になってください。



かこ さとし
(加古里子)

1926年生まれ。
東京大学工学部卒業。
工学博士。昭和電工に勤務するかたわら創作活動を始め、退社後に絵本作家となり、約600点

の作品を刊行。1956年から15年間幸区東古市場に居住。2009年川崎市文化賞を受賞。

★7月7日から川崎市市民ミュージアムでは企画展「かこさとしのひみつ展 だるまちゃんとさがしにいこう」が開催されます。

第35回

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。



『京浜急行 創立120周年』

明治31年（1898年）大師電気鉄道株式会社が創設され、翌明治32年1月に六郷橋～大師間の営業を開始しました。これがのちに京浜急行となっています。大師電気鉄道の創設は、後の工業都市川崎発展の礎となりました。京浜急行発祥の地記念碑が川崎大師駅前に設置されています。

このたび、京浜急行が創立120周年を迎えたことに伴い、『京浜急行120年史』が刊行されたほか、大師線では特別ラッピング列車「京急120年の歩み号」が運行されており、車内では当時の沿線写真等をご覧くださいいただけます。

電車ファンに人気の京浜急行。多くの関連書籍が出版されています。

A：『なぜ京急は愛されるのか “らしさ” が光る運行、車両、サービス』

佐藤良介 交通新聞社 2018年



なぜ京急は愛されるのか
佐藤良介 交通新聞社 2018

多くの人から愛される京急。会社の歴史的「生い立ち」をはじめ、車両や運行など、独自の視点・思想でその理由を探っていく1冊。知っているはずの京急がもっと身近に感じられるかも？

B：『電車で行こう！ 18巻 川崎の秘境駅と、京急線で桜前線を追え！』

豊田巧 集英社 2016年



電車で行こう！ 18巻
豊田巧 集英社 2016

人気の児童書にも京急が登場。川崎、神奈川のでんの地名や駅が登場することで、児童書ながらも小旅行気分が味わえます。

C：『京急電鉄の世界 身近な鉄路の本格派雑学』

交通新聞社 2014年



京急電鉄の世界
交通新聞社 2014

京急電鉄の現有車両をガイドするほか、路線図、停車駅一覧図、全駅プロフィール付き、と京急を知るにはうってつけの1冊です。

昔の川崎に興味があればきたら…

川崎市立図書館ホームページのわが街・かわさき内「Webギャラリー」に『おもいで昭和30年前後の川崎駅前～小串嘉男写真集より～』のコーナーがあります。こちらには昭和30年代の川崎駅前の風景写真が掲載されており、昔の川崎駅北口改札や、高架線路ではなかった頃の京急などの写真をご覧いただけます。ぜひ図書館ホームページ内の様々なコンテンツとともに楽しみください。

JR川崎駅北口開通のお知らせ

平成30年2月にJR川崎駅北口が開通し、川崎図書館が入っている高層ビル「川崎駅前タワー・リパーク」も通路からデッキで接続され、より便利にご利用頂けるようになりました。

9月の臨時休館のお知らせ

図書館で使用している業務システムの機材を総入れ替えるため、川崎市立図書館全館（分館・閲覧所を含む）は次のとおり休館いたします。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

(1) 中原図書館の休館期間：平成30年9月10日(月)～30日(日)

(2) 中原図書館以外の市立図書館の休館期間：平成30年9月10日(月)～23日(日)

※ホームページ閲覧、予約サービス等についてもご利用いただけない期間があります。詳細はスケジュールが決まり次第ホームページや館内掲示等でお知らせします。なお、(2)の期間はアリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設）における川崎市立図書館のサービスもご利用いただけません。また、9月9日をもちまして音声応答サービスは終了とさせていただきます。

《お問い合わせ》川崎市立中原図書館 電話 044-722-4932

9月																						
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
(1) 中原図書館の休館期間																						
(2) 中原図書館以外の市立図書館の休館期間																						

気持ちよく
図書館を利用したい

みんなそう
思っています

次に待っている人のために、一緒に利用している人のために、資料の貸出や図書館内でのマナーを守ってご利用ください。

お借りになった資料は返却期限までにお返しください

延滞期間が長くなると、延滞資料を返却した後も、一定期間、貸出・予約などができなくなることがあります。

お借りになった資料は借りたときの状態でお返しください

水濡れ、書き込み、切り取りなどを見つけたときは職員までお知らせください。

破損等してしまったときは、ご自分で修理なさらずに相談カウンターへお持ちください。

周りの人の迷惑になるような行為はしないでください

館内では大きな声で話したり、荷物での席取りをしないでください。

皆様が気持ちよく図書館を利用できるよう、ご理解、ご協力をお願いします。

図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がお薦めの1冊をご紹介します。

田島分館長 **丸山 恵子**

■『トムは真夜中の庭で』フィリパ・ピアス著

この物語は1958年、イギリスで発表され、日本では1967年の初版から今に至るまで何十年も読み継がれてきた、児童文学の名作といわれている作品です。

少年トムは夏休みに預けられた親戚の家で、眠れない真夜中の退屈しのぎに、こっそりと裏口から外に出て行きます。すると、そこには、昼間の防水布がかけられた車やごみ箱がおかれた雑然とした通路とは全く異なる、美しく広大な庭園が現れます。そこで、トムはハティという少女に出会うのです。

それからというもの、トムは毎晩ベッドを抜け出して、ハティに会いにいきます。庭園は、時にはきれいなヒヤシンスが咲く季節だったり、雪が降り積もる季節だったり、時間の流れがトムの昼間の現実とは違っていました。トムにとっては、夏休みの何日かの出来事が、ハティにとっては何年もの年月が流れているのですが、二人は時を超えて一緒に時間を過ごします。

「お薦めの一冊」を選ぶ時に、随分前に読んだこの作品を思い出しました。ストーリーの細部は忘れてしまっていたのですが、トムのすがすがしい少年らしさの中にある包容力や、ハティの時を経ても変わることのない少女の気持ちが、美しい庭園の情景とともに印象

に残っていました。今回、読み返してみて、トムの切羽詰まった気持ちや、両親を亡くした幼いハティを思いうる優しさに胸を打たれました。

時が経てばどうしても変わってしまうものがあります。しかし、一見、変わってしまったように見えるものの中に埋もれてわからなくても、実は変わらないものがあるということは、高齢化社会となった現代にあらためて考えていく必要のあるテーマとも重なります。子どもでも大人でも世代に関係なく読んでいただきたい一冊です。



『トムは真夜中の庭で』
フィリパ・ピアス著 高杉一郎訳
岩波書店

■川崎図書館田島分館（プラザ田島）

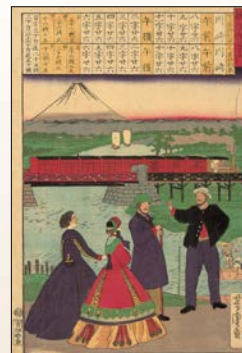
川崎駅からバスに乗り、海方面に10分ほど行ったところに田島分館があります。古くから住んでいる地元の方なら「大島デパートがあったところ」で通じるようです（何十年前かに「大島デパート」という食料品や日用雑貨を扱う小さなデパートがあり賑わっていたとのこと）。近くには焼肉で有名な「セメント通り」があり、昔ながらの定食屋さんや喫茶店など、昭和の雰囲気が残る町です。

田島分館は1、2階が店舗となっているマンションの4階にあり、子どもからお年寄りまでたくさんの方に御利用いただいています。教育文化会館の分館でもありますので、田島寄席やプラザ田島まつりなど、年間を通じて多くのイベントや事業を行っています。図書館で本を借りたあとにイベントを覗いていかれる方など、さまざまな世代の方の交流の場となっています。

地域資料の企画展示

平成30年（2018年）は、明治元年から満150年目にあたります。川崎市立図書館では、7月中旬頃から、各館（分館・閲覧所を除く）巡回で、「明治時代の川崎」をテーマに当時の風俗が読み取れる錦絵や村ごとの古地図などをそろえた企画展示を行う予定です。

150年前から現在、そして未来へと続く郷土川崎に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



錦絵「鉄道独案内」

編集・発行 川崎市立中原図書館

〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550)
幸 図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 橘 分館(788-1531)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 柿生分館(986-6470)
菅閲覧所(946-3271)